

| | | | |
|--------|-----|-----|--------|
| 開講期間 | 配当年 | 単位数 | 科目必選区分 |
| 前期 | 3 | 1 | 選択 |
| 担当教員 | | | |
| 林 富公子 | | | |
| 火2 | | | |
| 添付ファイル | | | |
| | | | |

| | |
|------------------|---|
| 科目の概要 | 教育実習Ⅱ（幼稚園）の事前事後指導科目として学生が次の内容を考え身に付けることが出来るように講義を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・実習生としてふさわしい態度を自覚する ・保育内容を総合的に理解し、保育実践と結びつける方法を考える ・教育実習Ⅰにおける自己の実習課題を考え実習に取り組めるようにする ・実習を通して保育者として働く上での課題を見つける |
| 授業の内容 | <p>第1回 教育実習の意義と目的 教育・保育実習ハンドブックのp1を読み実習の意義と目的を再確認すること。</p> <p>第2回 実習の流れと内容 第1回目に配布する教育実習要項の実習の内容を読み、分からない語彙について調べておくこと。</p> <p>第3回 幼稚園における保育 第2回目に配布するプリントを読み分からない語彙については調べておくこと。</p> <p>第4回 実習日誌・記録の書き方 基礎実習の日誌を再び見返すこと。 「実習の記録と指導演」p15を読み分からない語彙については調べておくこと</p> <p>第5回 指導演の作成と保育の展開①（グループ活動） 基礎実習で入ったクラスの子どもの姿及び活動についてまとめておくこと</p> <p>第6回 指導演の作成と保育の展開②（グループ活動） 第5回で各グループごとにまとめた子どもの姿及び活動の発表が出来るようにしておくこと</p> <p>第7回 指導演の作成と保育の展開③（部分実習の指導演） 「実習の記録と指導演」p10-14を読み分からない語彙については調べておくこと</p> <p>第8回 指導演の作成と保育の展開④（部分実習の指導演） 第7回で行った部分実習の指導演を完成し、期日までに担当者に提出すること</p> <p>第9回 指導演の作成と保育の展開⑤（一日実習の指導演） 実習園の1日の保育の流れや実習時期の行事についてホームページなどから調べておくこと。</p> <p>第10回 指導演の作成と保育の展開⑥（1日実習の指導演） 「新版遊びの指導」、「実習の記録と指導演」を用いて実際の子どもの活動について考えておくこと。</p> <p>第11回 指導演の作成と保育の展開⑦（1日実習の指導演） 第10回で行った1日実習の指導演を完成し、期日までに担当者に提出すること</p> <p>第12回 教育実習の留意点①子どもとの関わり 教育・保育実習ハンドブックp13-15を読み、内容を理解しておくこと。</p> <p>第13回 教育実習の留意点②実習生の心構え 教育実習要項を熟読し、実習生としての心構えについて確認しておく。</p> <p>第14回 実習終了後の振り返り（個人） 実習における子どもの姿や活動、保育者の援助について思い出しておくこと。</p> <p>第15回 実習終了後の振り返り（グループ） 実習振り返りシートの記入を済ませておく。</p> |
| 学習到達目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習に参加するにあたって必要な知識・態度を学ぶこと ・実習を通して自身の子ども観・保育観について考えること ・保育者として働く上で必要な課題を見つけること |
| 授業の方法 | 【授業形態】 講義及び演習 グループワーク：第5回、第6回、第15回 |
| 成績評価の方法 | レポート（40%）、指導演（40%）、履修記録用紙（20%） |
| 教科書・テキスト | 大阪青山大学子ども教育学科 教育・保育実習ハンドブック 保育所・幼稚園・児童福祉施設実習用 大阪青山大学子ども教育学科 教育実習ノート（幼稚園実習） |
| 参考書 | 文部科学省 2018 幼稚園教育要領解説 フレーベル館 内閣府・文部科学省・厚生労働省 2018 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 フレーベル館 幼少年教育研究所 2009 新版遊びの指導 同文書院 実習の記録と指導演 2018 田中亨胤監修 山本淳子編著 ひかりのくに |
| 授業時間外の学修について（事前・ | 各回の授業の内容に書かれていることを行うようにしてください。 |

| | |
|------------|--|
| 事後学習について) | |
| 履修上の留意事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育実習Ⅱ（幼稚園）を履修する人（幼稚園実習に行く人）のみ履修可とすること。 ・通年科目として開講すること。 ・後期授業で教育実習の振り返りとまとめを行うため、前期・後期とも開講日に留意しておくこと。 ・各時間、実習に必要な講義や演習、連絡事項等があるので、欠席はしないようにすること。欠席の場合は必ず学習内容を担当教員に確かめること。 |
| オフィスアワー | 火～金曜日の昼休み |
| 担当教員への連絡方法 | f-hayashi*osaka-aoyama.ac.jp *を@に変えて下さい。 |
| その他 | 特になし |